

レジメン名

Amivantamab+CBDCA+PEM (Ami-SG+CP)

出典

リプロファズ®適正使用ガイド2026年3月作成

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

非小細胞肺癌

■進行・再発(EGFR遺伝子変異陽性)
□補助療法(術前・術後)
□
□

1クール期間

21日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

infusion reactionの発現時(Ami-SG)

Grade1-2	中断。改善した場合、再開。		
Grade3	中断。改善した場合、再開。再発した場合、中止。		
Grade4	中止。		

減量する場合の投与量(Ami-SG)

リプロファズ	1600mg→1050mg→700mg→中止 2240mg→1600mg→1050mg→中止 2400mg→1600mg→1050mg→中止 3360mg→2240mg→1600mg→中止
--------	---

投与減量・休業・中止の基準と対応

副作用と重症度		CBDCA・PEM	
ANC	<1000/mm ³ かつ38.5℃以上	いずれかを満たす場合、CBDCA・PEMを75% doseに減量。	
ANC	<500/mm ³ かつPLT≧5万/mm ³		
PLT	<5万/mm ³		
PLT	<5万/mm ³ かつ出血を認める	CBDCA・PEMを50%doseに減量。	
粘膜炎	Grade1-2	PEMのみ50%doseに減量。	
副作用と重症度		副作用と重症度	CBDCA・PEM
ANC	1500/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
Hb	8.0g/dL未満	CLor	45mL/min未満
AST,ALT	120IU/L以上*	T-bil	1.8mg/dL以上*
*肝転移がある症例では、200IU/L以上、3mg/dL以上とする。			
副作用	重症度	リプロファズ(Ami-SG)	
間質性肺疾患	疑い	休業	
	確定	中止	
皮膚障害 爪障害	Grade1-2	2週間後に改善が認められない場合、減量を検討。 Grade2以下に回復するまで休業し、減量して再開。	
	Grade3		
	Grade4		
重度の水疱症又は離脱性の皮膚障害		中止	
その他	Grade2	休業を検討。1週間より後に回復→減量して再開することを検討。	
	Grade3	・Grade1以下又はベースラインに回復するまで休業	
		・1週間以内に回復→同じ用量で投与再開。1週間より後に回復→減量して再開。	
	Grade4	・4週間以内に回復しない場合、中止を検討。	
	Grade4	・原則中止	

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ペムトレキセド	500mg/m ²	NS50mL (全量80mL以下)	10分	d1
カルボプラチン	AUC5(GFR+25)	5%TZ250mL	60-90分	d1(1-4クール目)
カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。 安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				
アミバンタマブ(リプロファズ)	80kg未満: 1600mg	皮下注 (腹部)	約5分	d1(1クール目)
	80kg未満: 2400mg			d8、15(1クール目) d1(2クール目以降)
	80kg以上: 2240mg	皮下注 (腹部)	約5分	d1(1クール目)
	80kg以上: 3360mg(※)			d8、15(1クール目) d1(2クール目以降)
※ 複数のシリンジで投与する場合は、へその周り5cmを外した異なる腹部四分円に連続して投与する。				
【初回投与時に処方する皮膚障害対策支持療法】 ・ミノサイクリン100-200mg/日 分1-2内服 : 1サイクル目1日目から予防的に開始し、8週間抗生物質を継続することを強く検討。 ・ヘパリン類似物質油性クリーム 1日数回 体の乾燥した部位 : 1サイクル目1日目から日常的に塗布 ・ジフルブレドナート軟膏0.05% (very storong) 1日2回 体幹・四肢用 : 皮疹発現時から皮疹部のみに塗布 ・ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリーム0.1% (medium) 又はアルクロメタゾン0.05% (medium) 1日2回 顔面・胸部・頸部用 : 皮疹発現時から皮疹部のみに塗布 ・ベタメタゾン吉草酸エステルVローション0.12% (storong) またはベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステルローション0.05% (very storong) 1日2回 頭部用 : 皮疹発現時から皮疹部のみに塗布				
【PEM投与前に処方する支持療法】 ・薬融0.5mg/日を連日経口投与 : ペムトレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで ・ビタミンB12 1mg/回を9週間毎に筋注 : ペムトレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)
1クール目 day1 <点滴> ①パロノセトロン0.75mg/バッグ+デキサート4.95mg(15-30分) ②生食50mL(フラッシュ) ③ペメトレキセド500mg/inf+生食(100mL)50mL(10分) ④生食50mL(フラッシュ) ⑤CBDCA AUC5+5%糖液250mL(60-90分) ⑥デキサート8.9mg+生食100mL(15分) ⑦アセリオ1000mg+ボラミン5mg(30分) ⑧生食50mL(15分) <皮下注> ⑨リプロファズ1600mg(80kg未満) or 2240mg(80kg以上) 腹部皮下(約5分)
1クール目 day8、15 <内服> リプロファズ投与30分前 アセアミノフェン酸(200)5T ボラミン酸(2)1T <皮下注> リプロファズ2400mg(80kg未満) or 3360mg(80kg以上) 腹部皮下(約5分)
2-4クール目 day1 <点滴> ①パロノセトロン0.75mg/バッグ+デキサート4.95mg(15-30分) ②生食50mL(フラッシュ) ③ペメトレキセド500mg/inf+生食(100mL)50mL(10分) ④生食50mL(フラッシュ) ⑤CBDCA AUC5+5%糖液250mL(60-90分) ⑥アセリオ1000mg+ボラミン5mg(30分) ⑦生食50mL(15分) ⑧リプロファズ2400mg(80kg未満) or 3360mg(80kg以上) 腹部皮下(約5分)
5クール目以降 day1 <点滴> ①デキサート8.9mg+生食100mL(15-30分) ②生食50mL(フラッシュ) ③ペメトレキセド500mg/inf+生食(100mL)50mL(10分) ④生食50mL(フラッシュ) ⑤アセリオ1000mg+ボラミン5mg(30分) ⑥生食50mL(15分) ⑦リプロファズ2400mg(80kg未満) or 3360mg(80kg以上) 腹部皮下(約5分)